

## 【保護者等向け】児童発達支援評価表 結果集計 および 方針のご説明

事業所名： こども発達支援 ハートシード（児童発達支援）

実施時期： 令和7年9月～10月

対象者： 実施時期にハートシードに通所する就学前児童の保護者 10名（回答 10名）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 ・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	3				法令を遵守し、安心と支援の目が行き届くようなスペースになるように努めています。走り回るには狭さを感じますが、スペースをどう有効的に活用していくかを試行錯誤しながら活動を考えています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10					一人ひとりに職員がきちんと関わられる人数であることを基準に定めています。今後も、専門職を中心に支援方針や関わり方について、日々検討し適宜研修を行います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2				個々のお子さまが理解し行動しやすい生活空間となるように活動内容や物の配置等を検討しています。スロープ、手すり等が必要なお子さまがご利用の時には迅速に対応します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	8	2				衛生面では、活動後に感染予防対策として塩素系漂白剤で清掃を行っています。活動中は常に空気清浄機や部屋の換気を行っています。放課後等デイサービスの活動時に利用している物は別部屋に片付けたり目隠しをしたりして、お子さまが集中して活動に取り組めるように努めています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					初めてご利用になる時には、ご家族に丁寧なアセスメントを行い、職員間で共有を行った上で支援を始めています。お子さまの発達状況を多角的な視点から捉えて特性に応じた支援が継続出来るよう、児童指導員・保育士・公認心理師・言語聴覚士・看護師等の専門職員で多職種連携がとれる体制にしています。また、必要に応じて、医療機関や教育機関等の外部の方とも連携を行い、より良い支援に繋げています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					公表が義務付けられた支援プログラムは、話し合いを重ねて作成し、昨年度公表しました。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1				契約時に支援計画を作成し、半年毎に見直しをしています。活動後のご家族との振り返りの中で、ご家族のご要望などを伺っています。お子さまやご家族の気持ちに寄り添いながら、良い支援を考え作成したいと努めています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1				個別支援計画の作成過程や活動の中で具体的な支援を実施する上では、ガイドラインに示されている要件を踏まえつつ、お子さまやご家族の様子や環境の状況に必要な支援を選択し設定します。ご利用者様にとって適切な支援計画が策定できるよう、日々、努力していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					支援計画上の具体的な支援内容を基本とし、活動を行っています。活動後にご家族と、お子さまの様子と支援の振り返りを行っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					お子さまの活動への意欲や関心が向くような環境設定をする とともに、お友達との関わりを通して集団生活に必要なルール を知ることへ繋がるような活動内容になること等を目標に しています。また、実際のお子さまの成長を見ながら月毎に プログラムの内容を検討しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4		1	5		現時点での外部活動の機会はありませんが、今年度は同法人 事業所の放課後等デイサービスのイベントに年長さんを招待 しました。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					ご契約時や制度改正時に説明をさせていただいています。ご 不明な点は、いつでも遠慮なくおたずねください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					面談の時に、半年間のお子さまの様子をお伝えした後に、次 の児童発達支援計画表をお見せしながら支援内容について説 明を行っています。児童発達支援ガイドラインとは、障がい のある子ども達に提供すべき支援の質を確保する為に、基 本的な内容や運営を定めた全国共通の枠組みです。私たちの事 業所はこれを踏まえて、事情に応じた創意工夫をし、機能や 質の向上を図るものとされています。児童発達支援ガイドラ インは、入り口付近の棚に常備しております。（Web上でも 公開されています。）ご自由にご覧ください。ご不明な点が ございましたらいつでもお声がけください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10					日々の活動場面や活動後の振り返りの時間・面談を通して、 お子さまとの関わり・声掛けを一緒に考えており、ペアレン ト・トレーニングの一環としています。ご家族の希望に応じて、 コース（8～9回）での受講も可能です。プログラムに 参加をご希望される方はお申し出ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10					連絡ファイルに、最近のお子さまの様子やご相談事を記入していただき、こちらからは、活動の様子を記載しています。口頭でのフィードバックも行っています。月1回の参観日には活動を見て気付いたこと等を個々の用紙に記載していただき、活動後の振り返りの時間の中でご家族との共有ができるように努めています。職員間の情報共有については、今まで以上に意識を高く持ち、より良い支援に繋げていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					半年に一回の支援計画の見直しの時に、ご家族と支援についてお話しています。また、活動の中でお話を伺う時間を設けています。必要に応じて、その都度お時間をとりお話を伺えるように迅速に対応してまいります。今後もハートシードでの様子やご家庭での様子を踏まえて、ご家族の考えや希望をお聞きしながら、お子さまのことを一緒に考えてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					子育ての悩みや困りごと、ご家庭の状況、ニーズは皆さまそれぞれです。ご家族の気持ちに寄り添った支援を行い、信頼関係を築いていけるようにこれからも努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1		3		現在、保護者会の設置は行っておりませんが、参観日や講座の場を設けており、その際に交流も出来るようになっております。今年度は、保護者様向けの講座（睡眠について・デジタル機器との付き合い方・公認心理師による「子どもの発達を促す過ごし方」）を開催しました。きょうだい交流の機会は設けていませんが、面談や送迎時に必要に応じてごきょうだいの状況把握やニーズの有無を確認するように努めています。きょうだい同士の交流については、今後、ご要望・必要に応じて機会を設けてまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1				<p>いただくご意見、ご要望はすべて大切に受け止め、対応の体制を考えています。</p> <p>苦情解決第三者委員を設置し、お手紙も配布しています。年に一度、苦情解決会議を設けています。</p> <p>お子さまやご家族から苦情を受けた時には、契約時にもお渡ししました「重要事項説明書」に記載された方法で、迅速に対応させていただきます。</p> <p>【①事業所内苦情解決管理責任者 ②苦情解決連絡協議会(第三者委員) ③行政機関苦情受付機関】</p> <p>ご不明な方は、遠慮なくお申し出ください。</p>
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					<p>確実に内容が伝わるように、必要に応じてお手紙配布や口頭、お電話等ご家庭の状況に応じた方法で、連絡をしています。</p>
	21	定期的にお手紙ホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9			1		<p>皆様への必要な連絡事項や情報提供はその都度、掲示物や配布物、口頭などにて連絡いたしております。年に一度、ガイドラインに基づいたアンケート（保護者評価・事業者自己評価）を実施して、ホームページ上や面談などで、結果のご報告をしています。必要に応じて一斉LINEやホームページのお知らせ欄などを有効に活用していきます。</p>
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					<p>日ごろの事業所運営上、個人情報の取り扱いには気をつけております。関係機関との連携などは、利用者様の利益となる場合に、保護者様の同意を得た範囲で行います。不都合やご心配などは遠慮なくお申し出ください。</p>

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10					緊急時対応マニュアルを作成し、緊急時に一斉メール配信ができるようにしています。また、感染予防対策として、感染症対応マニュアルに沿って、こまめに室内の換気をし、活動終了時の清掃を行っています。マスクの着用は自由としています。新たな対策事項を決定しましたら周知・説明いたします。各マニュアル書類は、皆様にお渡しをしています。また、入り口付近の棚に常備しています。ご自由にご覧ください。ご不明な点はいつでもお声がけください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					大地震など避難を要する災害の場合、ハートシードは鎌取コミュニティセンターが避難所になります。避難訓練については、避難ルートや避難場所、避難時にどうするかの話し合いをしながら9月に実施しました。また、災害緊急時の一斉メール配信の確認もしました。今回の避難訓練での反省点を次回の避難訓練に活かしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					ご契約時に、安全計画に関する書類をお渡ししました。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			1		保護者同席ではない回に怪我等をした場合には、お迎え時に発生した際の状況とその後の対応をお伝えするようにしています。 また、小さな出来事でもヒヤリハットとして事業所内で共有し、対策を取るよう心掛けています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10					お子さまの色々な姿（場を離れる・落ち着かない等）に向き合いながら、安心して通所出来る方法、安心して活動に取り組める方法をお子さまと一緒に考えていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1				ハートシードでの活動の中で、『やってみたら面白かった。できた。』という気持ちをお子さまがたくさん感じられるように心掛けています。今後も、ここで得た満足感や肯定感が次のステップに繋がるように活動内容を考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					<p>いつもハートシードの支援にご理解、ご協力頂きありがとうございます。</p> <p>継続して参加していただくことにより、就学前に必要な認知・コミュニケーション能力等を身に付けていけるような年間プログラムを立てています。</p> <p>お子さまとご家族の願いに沿った支援ができますよう、今後もコミュニケーションを大切に、丁寧に取り組んでまいります。ご要望や気になる点がございましたら、遠慮なくお聞かせください。</p>